

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成 18 年 5 月 18 日 (2006.5.18)

【公開番号】特開 2000-157273 (P2000-157273A)

【公開日】平成 12 年 6 月 13 日 (2000.6.13)

【出願番号】特願 平 11-80340

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

A 6 1 P 3/04 (2006.01)

A 6 1 P 13/08 (2006.01)

A 6 1 P 13/12 (2006.01)

A 6 1 P 15/00 (2006.01)

A 6 1 P 21/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/04 (2006.01)

C 0 7 K 14/47 (2006.01)

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

C 1 2 P 21/02 (2006.01)

G 0 1 N 33/15 (2006.01)

G 0 1 N 33/566 (2006.01)

G 0 1 N 33/577 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

C 0 7 K 1/18 (2006.01)

C 0 7 K 1/20 (2006.01)

C 1 2 R 1/19 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 A

A 6 1 P 3/04

A 6 1 P 13/08

A 6 1 P 13/12

A 6 1 P 15/00

A 6 1 P 21/00

A 6 1 P 25/04

C 0 7 K 14/47 Z N A

C 1 2 N 1/21

C 1 2 P 21/02 C

G 0 1 N 33/15 Z

G 0 1 N 33/566

G 0 1 N 33/577 B

A 6 1 K 37/02

C 0 7 K 1/18

C 0 7 K 1/20

C 1 2 N 1/21

C 1 2 R 1:19

C 1 2 P 21/02

C 1 2 R 1:19

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 3 月 23 日 (2006.3.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

配列番号：35で表わされるアミノ酸配列と同一もしくは実質的に同一のアミノ酸配列を含有し、かつ配列番号：1、配列番号：2または配列番号：3で表わされるアミノ酸配列と同一もしくは実質的に同一のアミノ酸配列を含有するレセプター蛋白質に結合する能力を有するペプチドもしくはその前駆体またはそのアミドもしくはそのエステルまたはその塩。

【請求項 2】

配列番号：35で表わされるアミノ酸配列と同一もしくは実質的に同一のアミノ酸配列を含有し、かつ配列番号：1、配列番号：2または配列番号：3で表わされるアミノ酸配列と同一もしくは配列番号：1、配列番号：2または配列番号：3で表わされるアミノ酸配列と90～99.9%の相同性を有するアミノ酸配列を含有するレセプター蛋白質に結合する能力を有する請求項1記載のペプチドもしくはその前駆体またはそのアミドもしくはそのエステルまたはその塩。

【請求項 3】

配列番号：35で表わされるアミノ酸配列と同一もしくは実質的に同一のアミノ酸配列を含有し、かつ配列番号：1、配列番号：2または配列番号：3で表わされるアミノ酸配列と同一もしくは実質的に同一のアミノ酸配列を含有するレセプター蛋白質を活性化する能力を有する請求項1または2記載のペプチドもしくはその前駆体またはそのアミドもしくはそのエステルまたはその塩。

【請求項 4】

配列番号：35で表わされるアミノ酸配列と同一もしくは実質的に同一のアミノ酸配列を含有し、かつ配列番号：1、配列番号：2または配列番号：3で表わされるアミノ酸配列と同一もしくは配列番号：1、配列番号：2または配列番号：3で表わされるアミノ酸配列と90～99.9%の相同性を有するアミノ酸配列を含有するレセプター蛋白質を活性化する能力を有する請求項3記載のペプチドもしくはその前駆体またはそのアミドもしくはそのエステルまたはその塩。

【請求項 5】

配列番号：36で表されるアミノ酸配列と同一もしくは実質的に同一のアミノ酸配列を含有することを特徴とするペプチドもしくはその前駆体またはそのアミドもしくはそのエステルまたはその塩。

【請求項 6】

配列番号：36で表わされるアミノ酸配列と同一もしくは実質的に同一のアミノ酸配列を含有し、かつ配列番号：1、配列番号：2または配列番号：3で表わされるアミノ酸配列と同一もしくは配列番号：1、配列番号：2または配列番号：3で表わされるアミノ酸配列と90～99.9%の相同性を有するアミノ酸配列を含有するレセプター蛋白質に結合する能力を有する請求項5記載のペプチドもしくはその前駆体またはそのアミドもしくはそのエステルまたはその塩。

【請求項 7】

配列番号：35または配列番号36で表わされるアミノ酸配列を含み、かつ配列番号：1、配列番号：2または配列番号：3で表わされるアミノ酸配列を含有するレセプター蛋白質に結合する能力を有する請求項1または5記載のペプチドもしくはその前駆体またはそのアミドもしくはそのエステルまたはその塩。

【請求項 8】

ペプチドが、配列番号：11、12、15、16または43で表されるアミノ酸配列と同一もしくは実質的に同一のアミノ酸配列を含有するペプチドである請求項1～7のいずれ

か1項記載のペプチドもしくはその前駆体またはそのアミドもしくはそのエステルまたはその塩。

【請求項9】

ペプチドが、配列番号：11、12、15、16または43で表されるアミノ酸配列を含有するペプチドである請求項8記載のペプチドもしくはその前駆体またはそのアミドもしくはそのエステルまたはその塩。

【請求項10】

ペプチドが、配列番号：11、12、15、16または43で表されるアミノ酸配列と同一もしくは実質的に同一のアミノ酸配列を有し、分子量が5000～10000であるペプチドである請求項1～7のいずれか1項記載のペプチドもしくはその前駆体またはそのアミドもしくはそのエステルまたはその塩。

【請求項11】

ペプチドが、配列番号：11、12、15、16または43で表されるアミノ酸配列を有し、分子量が5000～10000であるペプチドである請求項10記載のペプチドもしくはその前駆体またはそのアミドもしくはそのエステルまたはその塩。

【請求項12】

ペプチドが配列番号：31、33または34で表されるアミノ酸配列と同一もしくは実質的に同一のアミノ酸配列を有するペプチドである請求項1～7のいずれか1項記載のペプチドもしくはその前駆体またはそのアミドもしくはそのエステルまたはその塩。

【請求項13】

ペプチドが、配列番号：17、31、33または34で表されるアミノ酸配列を有するペプチドである請求項12記載のペプチドもしくはその前駆体またはそのアミドもしくはそのエステルまたはその塩。

【請求項14】

ペプチドが(i)配列番号：17、31、33または34で表されるアミノ酸配列、(ii)配列番号：17、31、33または34で表されるアミノ酸配列中の1～7個のアミノ酸が欠失したアミノ酸配列、(iii)配列番号：17、31、33または34で表されるアミノ酸配列中の1～20個のアミノ酸が付加または挿入されたアミノ酸配列、または(iv)配列番号：17、31、33または34で表されるアミノ酸配列中の1～7個のアミノ酸が置換されたアミノ酸配列を含み、(i)配列番号：1、配列番号：2または配列番号：3で表されるアミノ酸配列と同一のアミノ酸配列もしくは配列番号：1、配列番号：2または配列番号：3で表されるアミノ酸配列と90～99.9%の相同性を有するアミノ酸配列を含有するレセプター蛋白質に結合する能力、または(ii)前記蛋白質を活性化する能力を有する請求項12記載のペプチドもしくはその前駆体またはそのアミドもしくはそのエステルまたはその塩。

【請求項15】

配列番号11、12、13、15、16、17、35、36、43または44で表されるアミノ酸配列からなるペプチドもしくはその前駆体またはそのアミドもしくはそのエステルまたはその塩。

【請求項16】

前駆体が配列番号：29で表されるアミノ酸配列と同一もしくは実質的に同一のアミノ酸配列を有するペプチドである請求項1～7のいずれか1項記載のペプチドの前駆体またはそのアミドもしくはそのエステルまたはその塩。

【請求項17】

配列番号：29で表されるアミノ酸配列を有するペプチドまたはそのアミドもしくはそのエステルまたはその塩。

【請求項18】

実質的に同一のアミノ酸配列が配列番号：30、37または38で表されるアミノ酸配列である請求項12記載のペプチドの前駆体またはそのアミドもしくはそのエステルまたはその塩。

【請求項 19】

配列番号：30、37または38で表されるアミノ酸配列を有するペプチドまたはそのアミドもしくはそのエステルまたはその塩。

【請求項 20】

請求項 1～7のいずれか1項記載のペプチドをコードする塩基配列を含有するDNAを含有するDNA。

【請求項 21】

配列番号：31、33または34で表されるアミノ酸配列と同一もしくは実質的に同一のアミノ酸配列を有するペプチドをコードする請求項 20記載のDNA。

【請求項 22】

配列番号：31、33または34で表されるアミノ酸配列を有するペプチドをコードする請求項 21記載のDNA。

【請求項 23】

配列番号：32、39または40で表される塩基配列を有する請求項 21記載のDNA。

【請求項 24】

配列番号：29、30、37または38で表されるアミノ酸配列と同一もしくは実質的に同一のアミノ酸配列を有する請求項 1～7のいずれか1項記載のペプチドの前駆体をコードする塩基配列を含有するDNAを含有するDNA。

【請求項 25】

配列番号：29、30、37または38で表されるアミノ酸配列を有するペプチドをコードする塩基配列を含有するDNAを含有する請求項 24記載のDNA。

【請求項 26】

配列番号：27、28、41または42で表される塩基配列を含有するDNAを含有する請求項 24記載のDNA。

【請求項 27】

請求項 20記載のDNAを含有する組換えベクター。

【請求項 28】

請求項 27記載の組換えベクターで形質転換された形質転換体。

【請求項 29】

請求項 28記載の形質転換体を培養し、請求項 1～7のいずれか1項記載のペプチドを生成せしめることを特徴とする請求項 1～7のいずれか1項記載のペプチドもしくはその前駆体またはそのアミドもしくはそのエステルまたはその塩の製造法。

【請求項 30】

請求項 1～7のいずれか1項記載のペプチドまたはその前駆体に対する抗体。

【請求項 31】

配列番号：31、33、35または44で表されるアミノ酸配列を有するペプチドに対する抗体。

【請求項 32】

請求項 30または31記載の抗体を含有してなる診断薬。

【請求項 33】

請求項 1～7のいずれか1項記載のペプチドもしくはその前駆体またはそのアミドもしくはそのエステルまたはその塩を含有してなる医薬。

【請求項 34】

記憶機能改善剤、食欲調節剤、子宮機能調節剤、腎臓機能調節剤、前立腺機能調節剤、精巢機能調節剤または骨格筋機能調節剤である請求項 33記載の医薬。

【請求項 35】

請求項 1～7のいずれか1項記載のペプチドもしくはその前駆体またはそのアミドもしくはそのエステルまたはその塩を用いることを特徴とする、配列番号：1、2または3で表わされるアミノ酸配列と同一もしくは実質的に同一のアミノ酸配列を含有するレセプター

蛋白質に対するアゴニストまたはアンタゴニストのスクリーニング方法。